

モンゴル国 国家総合開発計画策定プロジェクト



建設都市開発省
国家開発庁／経済開発省



新しい開発パラダイムへ

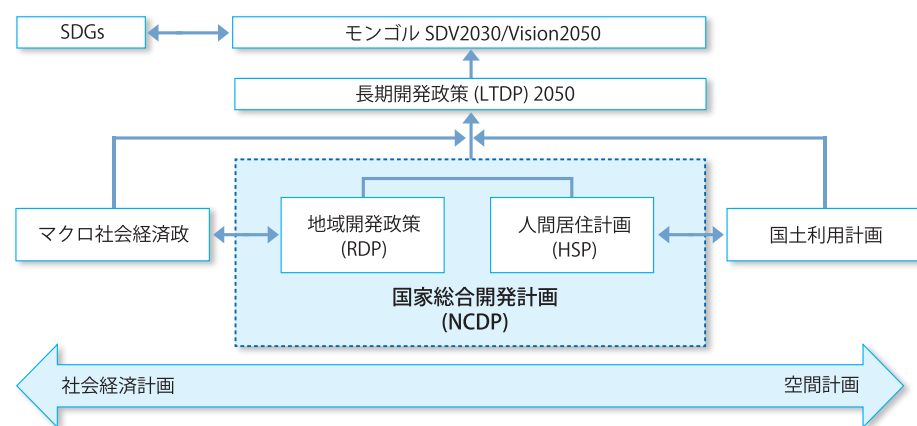


株式会社レックス・インターナショナル
株式会社パデコ
日本工営株式会社
プロモーションビデオへのリンク



NCDPとは?

モンゴルの国家総合開発計画（NCDP）は、国際協力機構（JICA）の技術協カスキームによる支援のもと、モンゴル政府にとって重要な政策 / 計画文書として策定された。この NCDP は、建設都市開発省（MCUD）、が作成する人間居住計画（HSP）、及び国家開発庁（NDA）が作成する地域開発政策（RDP）がより優れたものとなるように活用されることを志向しており、また、モンゴルの長期開発政策における Vision2050 の実効性を高めることも期待されている。

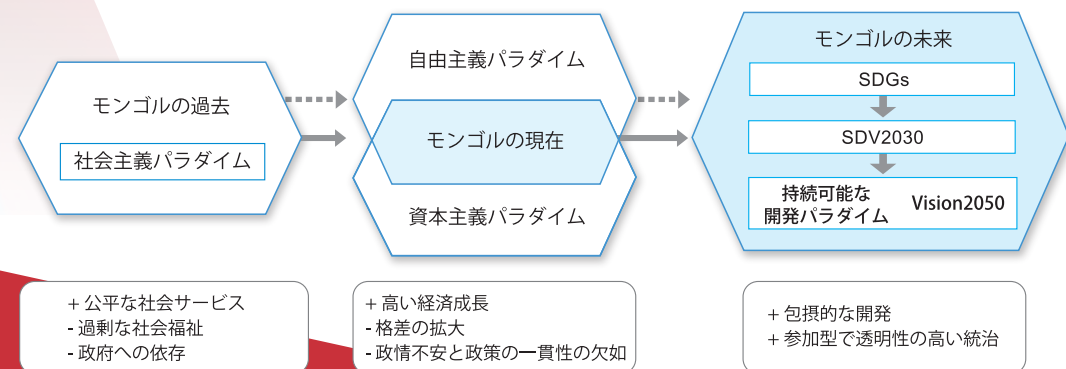


NCDP 策定過程における特筆すべき特徴は、シナリオ・プランニングに基づいた参加型開発のアプローチを採用した点である。モンゴル政府のみならず、研究機関・研究者、メディア、民間企業、若者グループ等を効果的に巻き込み、意見集約しつつ計画策定を行ってきた。

新型コロナウイルス（COVID-19）の感染拡大後においても、オンラインを活用したマルチステークホルダー会合と呼ばれる、多様な参加者を招いた会合を重ねている。



モンゴルは近年、開発パラダイムの変化を経験してきている。開発パラダイムとは、根源的な開発の方向性を示す言葉であり、モンゴルは社会主義パラダイムから自由主義・資本主義パラダイムへと変遷した歴史を持っている。2000年代では、高い経済成長を目指した鉱業主導の開発が促進されてきた。これに対し、NCDP は、現状のモンゴルの開発パラダイムを、持続可能で包摂性を重視するものに変化させることを目指しており、このような社会経済のあり方を「代替社会経済」と呼んでいる。



ビジョンと概念

開発パラダイムの転換（パラダイムシフト）を実現するために、NCDP は、よりバランスのとれた国家社会経済と国家空間構造のための「地域開発」に重点を置いている。そのため、NCDP は、豊かな自然・文化資源を持つモンゴルのユニークな特性、地理的・政治的位置を分析したうえで、参加型ワークショップ等で明らかになった人々の重要な幸福の概念を反映し、モンゴルの長期開発のための開発ビジョンを提示している。



モンゴルの地域開発ビジョン

レジリエントで強靱な社会経済の実現。それによって変化する世界に適応しグローバル社会に開かれるとともに、持続可能で包摂的な開発を実現する。その内容は資源を資本として賢く管理・活用し、多様な経済活動が相互に結び付いて意味のある雇用機会が多く創出され、多民族による豊かな文化遺産が人々の参加によるニーズに対応し透明性の高い統治システムによって管理され、あらゆる部門において先進適正技術及び新しい価値や知識を求める人材が支えていることである。

追求すべきモンゴル (Mongolia) の国家総合開発の重要概念

- M**ixed language multi-culture society (多言語の文化多様社会)
- O**rganizational unity for strength (組織の統合力)
- N**etwork society with nomadic tradition (遊牧の伝統に立脚したネットワーク社会)
- G**lobal good governance (グローバルな良い統治)
- O**utward-oriented development (外部志向の開発)
- L**iaison between East and West (東と西の連携)
- I**CT-oriented industrial clusters (ICTによる産業クラスター)
- A**dvanced alternative socio-economy (先進的代替社会経済)

開発代替案

NCDP では、幅広い代替案を評価し、モンゴル経済及び輸出品の多様化に効果的な高成長ハイブリッド開発を最適なものとして採用した。この開発代替案では 2040 年までの経済成長率は年率 7.1%、また、総人口は 464 万人と予測している。

開発代替案	定義	GDP 成長率
A 鉱業開発主導による開発	鉱業開発に依存した経済成長と輸出増を継続し、鉱産品や農畜産品の加工は限定される。	6.7%
B 高度工業成長による開発	鉱産品や農畜産品の加工業を経済成長の推進力として開発を図る。	6.7%
C 越境取引活用による開発	モンゴルを通過する越境取引をもう一つの推進力として、サービス部門の高成長を図る。	6.7%
D 工業と越境取引によるハイブリッド開発	鉱産品や農畜産品の加工業と越境取引を組合せて、高い経済成長を目指す。	7.1%

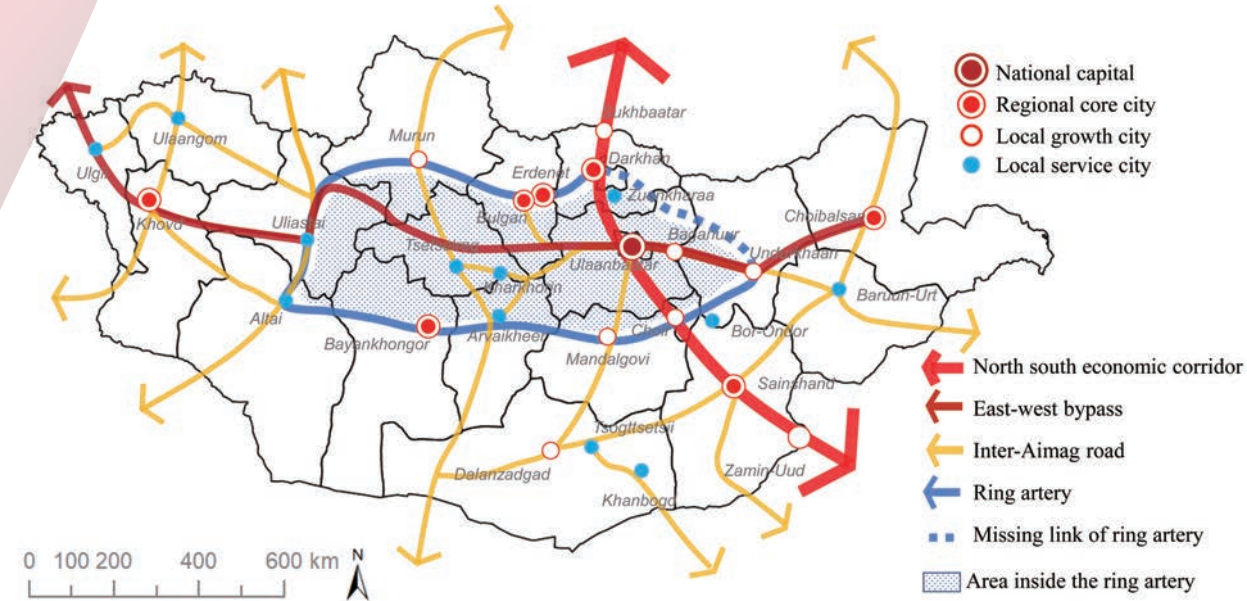
セクター	開発代替案D：年平均GDP成長率 (%)
農業	3.5
鉱業	5.0
製造業と公共事業	9.4
サービス	8.3
GDP	7.1



都市階層構造と概念的土地利用計画

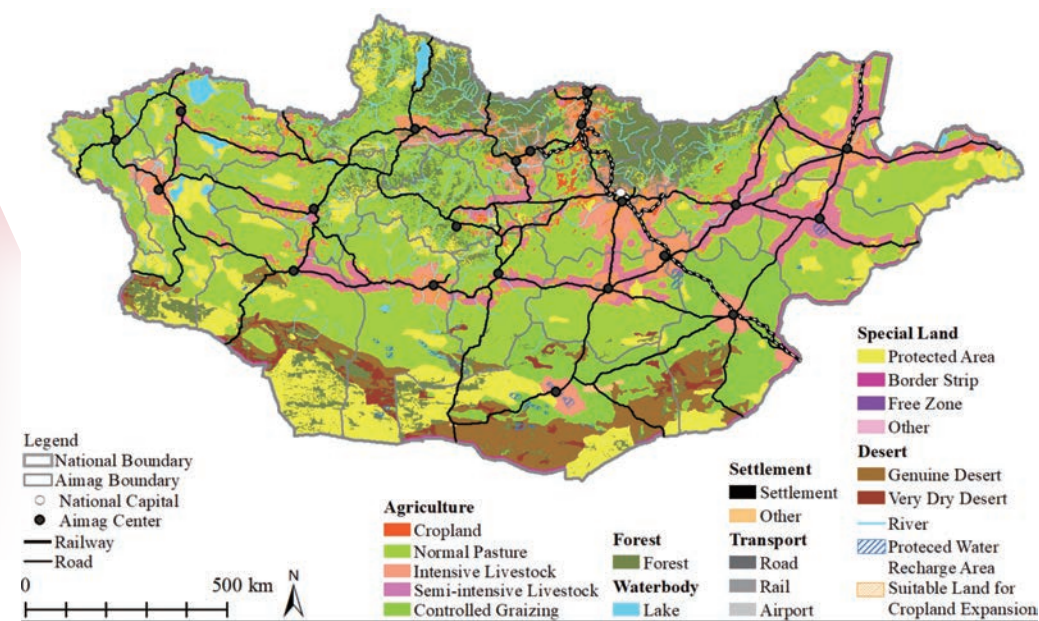
NCDP では、西部地域、ハンガイ地域、首都地域、東部地域の主要都市を効率的に結ぶ環状動脈を確立し、都市機能を強化した都市階層を構築することにより、地域の経済発展とより効果的な社会サービス提供を支える空間構造を提案している。

都市階層構造と幹線運輸体系による空間構造



さらに、NCDP では、国土の適切な土地利用の指針とするべく、概念的な土地利用計画を作成している。作物栽培地は拡大し、集約的畜産適地及び放牧制御地を新たに定義する。森林域は拡大、保護地区は水資源涵養域を加えて拡大することを志向している。

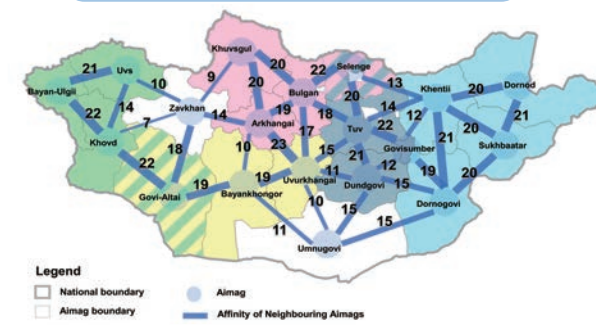
概念的土地利用計画



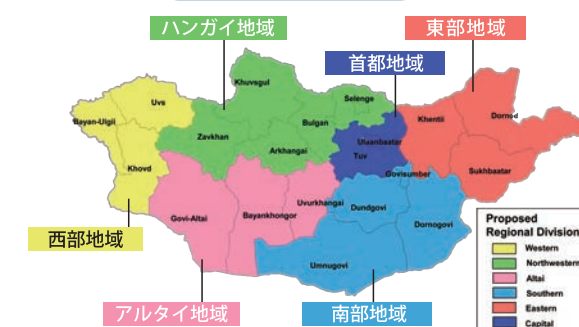
新しい地域区分

地域開発政策が、より効果的になるよう 21 のアイマグ（県）につき社会経済や土地利用等に係る 30 指標の特性を検討し、隣接するアイマグ間の親和性を分析することにより、新たな地域区分を提案した。

隣接するアイマグ間の親和性分析



新しい地域区分

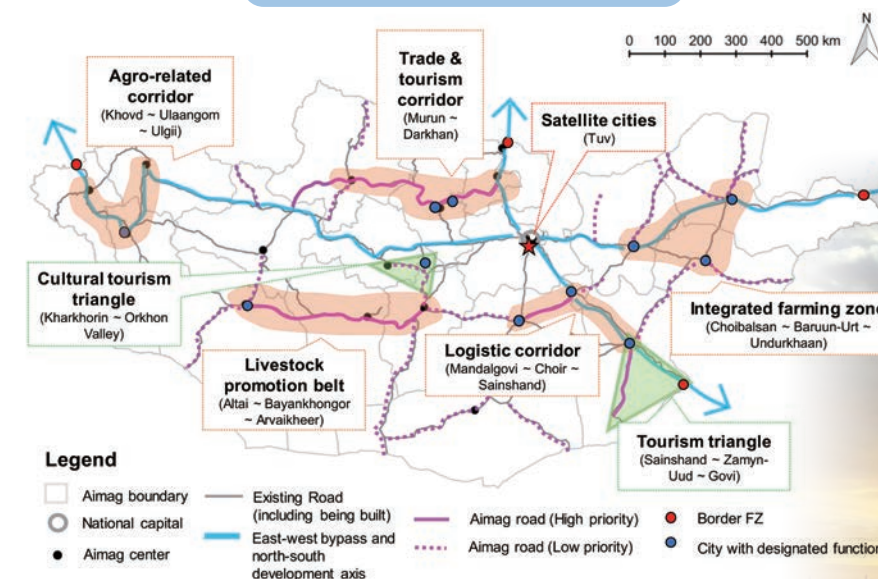


地域開発プログラム(IRDP)

NCDP では、各地域において地域開発プログラム (IRDP) を構築している。これらは、社会経済的特性、自然・文化的資源、アイマグ行政の意見を反映し、各地域の開発ビジョンのもとで策定された。

地域	ビジョン	圏域開発
西部	グリーン開発モデル地域	- Khovd-Ulaangom-Ulgii 農産関連回廊
ハンガイ	先進的社会経済複合地域	- Darkhan-Murun 交易・観光回廊
アルタイ	農業・エネルギー多様性確保地域	- Altai~Bayankhongor~Arvaikheer 畜産振興ベルト地帯 - Kharkhorin~Orkhon 溪谷~Tsetserleg 文化観光三角地区
南部	鉱山・コミュニティ協調開発モデル地域	- Mandalgovi~Choir~Sainshand ロジスティック回廊 - Sainshand~Zamin-Uud~Govi 観光開発三角地区
東部	強靱でレジリエントな国境開発地域	- Choibalsan~BarunUrt~Undurkhan 統合農業ゾーン
首都圏	高度加工・ロジスティック基地地域	- Tuv サテライトシティ開発

地域総合開発プログラムの圏域開発





開発シナリオ

開発パラダイムの転換を実現するために、フェーズ毎の開発シナリオを設定している。

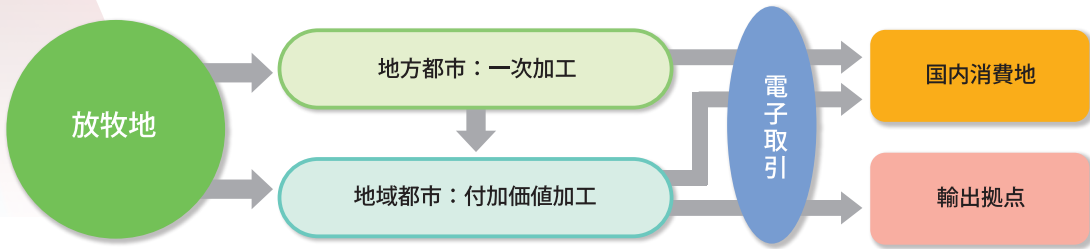
フェーズ 1 ~2025	フェーズ 2 2026-30	フェーズ 3 2031-40
代替社会経済へのパラダイムシフトに対する準備期間 - 資本蓄積 - 新しい経済活動に対する積極的な再投資 - 地方自治体の能力の着実な強化 - 限られた公共部門の資源を補完するためにコミュニティの資源を活用する新しい手法の導入 - すべてのセクターでのデジタル化の加速	代替社会経済に適応するための社会経済構造の積極的な転換 - 新しい経済活動への投資拡大 - 環境モニタリング・管理から開始される開発行政の初期的な地方分権化 - 制度化を視野に入れたコミュニティ施設建設の計画と実施のための参加型メカニズムの構築	代替社会経済のモンゴル型モデルへのパラダイムシフトの完了 - Vision2050 および SDGs の達成に関するレビューに基づいた開発戦略の調整 - ロシア、中国、その他の国との活発な交流、およびモンゴルとこれらの国々の間の相互移民 - アイマグへの各種行政機能のさらなる委譲

NCDP に沿って形成したプロジェクト・プログラムを、政策意図を明確にし相互の調整を促進するために、4 つのイニシアティブとして提示している。

開発イニシアティブ	政策意図
経済・輸出多様化	経済及び輸出品の多様化と外部志向型開発
包摂的エンパワーメント	新しい開発パラダイムを追求するための、人々の意識向上、教育・訓練による能力強化
空間構造強化	幹線・準幹線道路の高規格での整備と都市機能の向上による空間構造の強化
グリーン開発推進	国土及び国家社会経済の持続可能性とレジリエンスの向上

開発戦略

NCDP の開発戦略では、産業クラスター開発、空間構造の強化、ICT の活用を重視しており、それらを象徴的に示すものが、交通・通信システムで結ばれた畜産業クラスターである。



NCDP では、強固な中央政府主導のもと、モニタリングと評価機能の委譲を皮切りに、開発行政の段階的な地方化を志向している。また、地域開発プログラム（IRDP）の強力的な実施のために、各地域に地域開発評議会（RDC）を設置し、調整と実施プロセスにおけるアイマグ行政の能力開発を行うことを提案している。

NCDPの基幹プロジェクト

基幹プロジェクトは、モンゴルの社会経済及び空間構造を強化するために、4 つの開発イニシアティブとして提案されている。

経済・輸出多様化イニシアティブ		空間構造強化イニシアティブ	
I 1.1	国境地区 FTZ・SEZ 推進	III 1	環状幹線道路整備
I 2	産業クラスター振興プログラム	III 2	アイマグ間道路建設・改善
I 2.2	畜産産業クラスター振興	III 4	ウランバートルバイパス鉄道連絡
I 3.2	グリーンハウス農業推進	III 5	南北回廊鉄道容量拡大
I 3.3	アグロ IT パーク建設	III 9	ウランバートル空港衛星都市
I 4.2	ICT による畜産モニター・支援		
I 5.3	シーベリー生産拡大		
I 7.2	食品トレーサビリティプラットフォーム		
I 9.1	石炭輸送・輸出推進		
I 10.2	「ウルトゥ」サービス駅		
包摂的エンパワーメントイニシアティブ		グリーン開発推進イニシアティブ	
II 1.1	牧民コミュニティ支援施設	IV 2.2	自動車リサイクルパーク
II 2.1	地方行政・遊牧民情報共有強化	IV 2.4	エコパーク設置
II 3	技能訓練・就業創出プログラム	IV 3.1	Ger 地区整備ガイドライン
II 4	若い女性のためのキャリア開発支援	IV 3.2	Ger 地区衛生改善
II 6	教育部門総合改革プログラム	IV 6	Tuul 水資源利用複合施設
II 7.1	プライマリー保健強化	IV 7.1	都市上水改善
II 9.1	グループ起動センター	IV 8.4	Soum センター小規模汚水処理場
		IV 9	Selenge 川水力発電ダム

